

くすのきだより



令和7年9月1日
来迎寺小学校

防災について考える

校務主任 池田 優子

遡ること100年以上前の1923年9月1日。死者・行方不明者が10万人を超える関東大震災が発生しました。そして1960年、地震をはじめとする様々な災害についての認識を深め、備えをすることにより、災害の未然防止と被害を軽減するために、9月1日が「防災の日」として制定されました。

しかし、その後も阪神淡路大震災（1995）、東日本大震災（2011）、能登半島地震（2024）等、日本各地で大きな地震が起きるたびにメディア等を通して、信じられないような被災地の様子を目にしています。巨大な南海トラフ地震が起これば、当たり前ことができなくなる、大切な人に会えなくなる、そんな日がやってくるかもしれません。地震の脅威を忘れず、いつ起こるか測り知れない災害への備えを欠かさず、継続していくことが大切だと考えます。

学校では、4月の避難訓練に加え、10月2日には「問題解決的な防災訓練」を予定しています。「お（押さない）は（走らない）し（しゃべらない）も（戻らない）」を守るだけでなく、教員と児童それぞれが状況に応じて判断し、真剣に訓練に臨みます。ご家庭でも9月1日「防災の日」を機会に、「もしもの時」について話題にしてみてくださいますと幸いです。

【命を守る3つの安全行動】（あいちシェイクアウト訓練HPより）



なお、学校のホームページには、「災害対応マニュアル」が掲載されています。万に備えて一度ご確認ください。

なかよく がんばる やさしい子

児童会担当 工藤 万依

なかよく、がんばる、やさしい子。来迎寺小学校ではこの校訓を達成するにはどうしたらいいだろうと考えながら、日々様々な活動に取り組んでいます。7月に行った来迎寺小学校の全員遊び「来小っ子ビンゴ大会」では、全校児童が楽しめるよう、代表委員会の児童が中心となって遊びやルールなどを考えました。代表委員の児童とどんな全員遊びにしたいか話し合ったとき、「異学年となかよくできる遊びがいい」「暑くて外には行けない分、部屋の中で頭を使って楽しめるような遊びがしたい」など様々な意見が出ました。そんな中、来迎寺小学校の校訓である「なかよく、がんばる、やさしい子」が達成できたらよりよい来迎寺小学校にしていけるのではないかという意見が出たため、児童はこれらの目標に向かって、ビンゴカードを作成したり、アンケート調査を行ったり、事前に答え合わせの動画を、タブレットを使って作成したりと意欲的に活動していました。

代表委員が作成したビンゴカードは全校児童に数日前に配付され、それを見た児童は「来迎寺小にくすの木って何本あるの?」「5年生の好きなスポーツを聞いて回ろう!」とビンゴの答え合わせ当日まで、学校中を歩いて異学年と交流したり、校長先生など様々な先生に聞き取り調査をしたりと、ビンゴを楽しむ姿がたくさん見られました。

迎えたビンゴの答え合わせ当日、各クラスに同時配信を行い、答え合わせをしました。代表委員が工夫を凝らして作った動画に全校児童は驚いたり笑ったり、各クラスから楽しそうな声が聞こえてきました。その様子を見ていた代表委員の児童が「みんなが喜んでくれてよかった」「またやりたいと言ってもらえた」と、嬉しそうに話していたのがとても印象的でした。

今回、ビンゴを通してたくさんの児童が校訓を達成することができたと思います。なかよく、がんばる、やさしい子。そんな素敵な児童があふれる来迎寺小学校を目指してこれからも児童とともに頑張っていきます。

＜資源回収＞

5月 22, 230円

6月 15, 540円

7月 15, 710円

☆ご協力ありがとうございました。次回は9月24日（水）です。